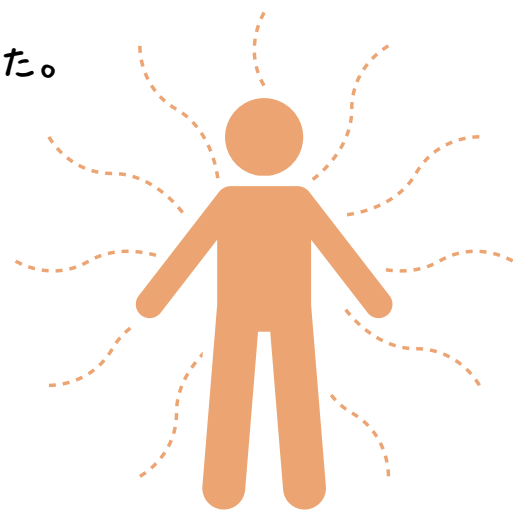


－ 病気の本质に迫るバイオレゾナンス法 －

バイオ（生体）＋レゾナンス（共鳴）という意味です。

1975年、ドイツのパウル・シュミット博士によって体系化された理論です。レヨメーターという物質の固有振動数を発振するドイツの装置を用いて、体の不調部分、病気の原因などを推定します。

人間の体は物質であると同時にエネルギーです。このエネルギーを古来より、「気」と呼んできました。当院では、この「気」の状態を調べるために佐賀県の矢山利彦医師が開発された器械である「ゼロ・サーチ」を用いています。血液検査などの西洋医学の検査と併用しながら、ゼロ・サーチで「気」の状態を推定します。「ゼロ・サーチ」は、2012年「エネルギー検知器」として特許が認定されています。（特願2008-133526）



バイオレゾナンスに用いる機械は医療機器ではありませんので、当院では、あくまでも、診療の補助として用いています。



ゼロサーチ

レヨメーター



レヨコンプ (PS10)